

平成21年度森林環境基金事業の枠組み(実績)

資料2

税金11.32億円(見込み)
(個人事業者・給与所得者9.30億円 法人2.02億円)

県・市町村の徴収取扱費0.79億円(税金の7%)

森林環境基金12.82億円(見込み)
(今年度繰り入れ10.53億円+前年度からの繰り越し2.29億円)
国庫の活用:192,353千円→平成21年度決算額:1,278,976千円

県事業 10.49億円(82.0%)

市町村事業 2.30億円(18.0%)

【単位:千円】

森林環境を保全するための事業 1,023,489 (80.0%)	森林づくりの意識を醸成するための事業 25,228 (2.0%)
①森林環境の適正な保全 979,976 (76.6%) ・水源区域の森林整備 ・森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化	③県民参画の推進 15,023 (1.2%) ・森林環境学習に必要なフィールドの整備、指導者の養成 ・森林ボランティアの養成、森林ボランティアサポートセンターの運営等
②森林資源の利用促進 43,513 (3.4%) ・間伐材の搬出・運搬支援及び利用促進 (ペレットストーブ、省資源型生産システムの導入等)	④森林文化の復興 5,171 (0.4%) ・県内の森林文化を調査し、普及・定着を図る
	⑤森林環境の調査研究 2,009 (0.2%) ・水環境の変化を調査し、森林整備の効果を実証等 ・木質バイオマスの利用
	⑥森林環境基金の運営 3,025 (0.2%) ・森林環境基金事業に対する県民の理解を深めるための 広報、懇談会の開催等

森林環境を保全するための事業 152,796 (11.9%)	森林づくりの意識を醸成するための事業 77,462 (6.1%)
森林環境交付金事業【地域提案重点枠】 148,969 (11.6%) ・市町村独自の優れた提案事業に重点的に 取り組む財源 (事業の対象分野) ア 森林整備の推進 イ 県産間伐材の利活用推進 ウ 木質バイオマスの利活用推進 エ その他	森林環境交付金事業【森林環境基本枠】 77,462 (6.1%) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り 組む財源 (事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進
森林整備促進事業 3,827 (0.3%) ・市町村有林等の整備を支援	

※()は決算額に占める割合

森林環境基金事業実績について

1 森林環境の適正な保全

(1) 森林整備事業

事業概要

手入れが行われず荒廃が懸念される公益的機能の高い水源地域の森林について、県営事業及び補助事業により間伐等の森林整備を実施した。

事業費計：976,286千円（基金：783,933千円、国庫：192,353千円）

- ・森林整備事業（県営） 事業費：738,689千円 2,301ha
- ・森林整備促進事業（補助） 事業費：237,597千円 1,294ha

○H21実績

・県営事業

計画量2,187haに対して2,301ha（対計画比：105%）を実施した。

	H21計画	H21実績	
県計	2,187	2,301	単位:ha
(県北)	95	96	
(県中)	603	739	
(県南)	320	319	
(会津)	312	325	
(南会津)	105	65	
(相双)	317	294	
(いわき)	435	464	

※値は、各事務所毎に単位未満を四捨五入しているため、積上合計と県計は必ずしも一致しない。

・補助事業

計画量1,300haに対して1,294ha（対計画比：99%）を実施した。

○実績累計（H18～H21）

事業費計：3,036,170千円（基金：2,325,623千円、国庫：710,547千円）

・県営事業

事業費：2,172,642千円（基金：2,047,839千円、国庫：124,803千円） 6,878ha

・補助事業

事業費：863,528千円（基金：277,784千円、国庫：585,744千円） 4,566ha

◎目標値（H18～22）

- ・県営事業 9,000ha（進捗率：76%）

(2) 森林環境適正管理事業

事業概要

森林GISの保守を行うとともに、森林情報発信システム「ふくしま森まっぷ」の運用により、地図と連携した森林情報を広く県民に発信した。

- ・森林情報(GIS)活用推進事業 事業費：7,517千円

○H21実績

・森林情報(GIS)活用推進事業

森林GISの保守、運用業務を(株)パスコに委託した。(4月13日にウェブサイト「ふくしま森まっぷ」の運用開始式を行い、一般県民への情報提供を開始した。)

○実績累計（H18～H21）

事業費計：207,263千円（基金：163,007千円、国庫：44,256千円）

・森林情報(GIS)活用推進事業

事業費：206,411千円（基金：162,155千円、国庫：44,256千円）

・森林認証普及啓発事業

事業費：852千円

2 森林資源の利用促進

(3) 間伐材搬出支援事業

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場等への間伐材の運搬を支援した。

事業費計：35,000千円

- ・ 間伐材運搬経費支援事業 事業費：12,500千円
25,000m³（補助額：500円/m³）
- ・ 林内作業路整備支援事業 事業費：22,500千円
44,988m（補助額：500円/m又は1,000円/m）

○H21実績

- ・ 間伐材運搬経費支援事業（事業費：12,500千円） 25,000m³
- ・ 林内作業路整備支援事業（事業費：22,500千円） 44,988m

○実績累計（H18～21）

事業費計：164,633千円

- ・ 間伐材運搬経費支援事業（事業費：75,133千円） 91,777m³
- ・ 林内作業路整備支援事業（事業費：89,500千円） 178,988m

(4) 間伐材利用促進事業

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、県有施設工事への間伐材活用、県管理施設等に間伐材を主体とする木材製品や資材の利用展示を行う安らぎの場の創出、間伐材や製材端材等の木質バイオマスの循環利用を推進するペレットストーブの導入を支援した。

事業費計：7,845千円

- ・ 県有施設の間伐材利活用推進事業 事業費：1,919千円
- ・ 「ほっと」スペース創出事業 事業費：3,184千円
- ・ ペレットストーブ利用推進事業 事業費：2,742千円

○H21実績

・ 県有施設の間伐材利活用推進事業

県立博物館（会津若松市）に案内板2基を設置した。（1月31日竣工）

・ 「ほっと」スペース創出事業

- ① 県庁西庁舎2階県民ホール喫茶コーナーに外装パネルを設置した。（503,737円）
- ② 大笹生養護学校渡り廊下屋外仕切りに木製腰板を設置した。（392,175円）
- ③ 郡山合同庁舎に多目的柵1台を設置した。（186,900円）
- ④ 県文化財センター白河館（まほろん）に木製ベンチ6台を設置した。（504,000円）
- ⑤ 県立博物館に木製展示ケース5台を設置した。（393,750円）
- ⑥ 県立南会津病院にパンフレットラック2基、看板2基等を設置した。（156,450円）
- ⑦ 南会津高等学校に木製看板3基を設置した。（30,555円）
- ⑧ 会津乗合自動車（株）山口営業所バス停留所にベンチ2台を設置した。（134,400円）
- ⑨ 只見高校に新聞閲覧用机3基を設置した。（162,750円）
- ⑩ 新地高校に書架2基、案内板10基を設置した。（251,160円）
- ⑪ 大柿ダムに木製テーブル2台、ベンチ4台を設置した。（142,800円）
- ⑫ ふくしま海洋科学館アクアマリンふくしまに木製ベンチ15台を設置した。（325,395円）

・ ペレットストーブ利用推進事業

民間施設等への導入支援として、50台に補助を行った。（支援台数50台）

○実績累計（H18～21）

事業費計：45,014千円

- ・ 県有施設の間伐材利活用推進事業（事業費：15,586千円） 4施設
- ・ 間伐材利用拡大モデル展示事業（事業費：1,665千円） 2タイプ（常設用・移動式）

- ・「ほっと」スペース創出事業（事業費：11,170千円） 県有施設等31施設
- ・ペレットストーブ利用推進事業（事業費：16,593千円）
172台（県有施設25台、民間施設等147台）

(5) 省資源型生産システム推進事業

事業概要

間伐材の利用推進を図るため、ハウス栽培における加温施設の燃料に木質ペレットを利用した。

- ・事業費：668千円

○H21実績

(財)福島県きのこ振興センター（郡山市）におけるシイタケのハウス栽培にモデル的に木質ペレット暖房を導入し、シイタケの形質や収量に与える影響を検証した。

また、これらを公表することで、燃油使用量の削減による省資源型加温対策の一手法として、木質ペレット暖房装置の効果をシイタケ生産者に認識してもらうことができた。

○実績累計（H21）

事業費計：668千円

3 県民参画の推進

(6) 森林環境学習推進事業

事業概要

県民を対象に各流域の特色を活かした森林環境ゼミナールを開催するとともに、森林環境学習に必要なフィールドの整備を行い、森林環境学習の推進を図った。

事業費計：2,469千円

- ・森林環境ゼミナール開催事業 事業費：1,806千円
- ・森林環境学習の森整備事業 事業費：663千円

○H21実績

・森林環境ゼミナール開催事業

流域毎に各事務所（県南、南会津、相双）が主体となり、実施した。

奥久慈流域	10月10日（埴町）	92名（事業費：430,500円）
阿武隈川流域	7月25日（白河市、西郷村）	114名（事業費：472,500円）
会津流域	11月7日（南会津町）	101名（事業費：451,500円）
磐城流域	12月19日（富岡町）	62名（事業費：451,500円）
	計	369名

・森林環境学習の森整備事業

昭和の森（会津）

○実績累計（H18～21）

事業費計：30,835千円

- ・森林環境ゼミナール開催事業（事業費：9,290千円） 延べ参加者1,836名（延べ17回）
- ・森林環境学習の森整備事業（事業費：21,545千円） 8ヶ所

(7) 森林ボランティア総合対策事業

事業概要

森林づくり活動の広報、森林ボランティアに関する情報収集及び提供、相談窓口業務等を行う森林ボランティアサポートセンターを設置するとともに、森林づくりを先導する事業やボランティア団体の活動を支援するほか、企業の森林づくりへの参加推進に努めた。

事業費計：7,642千円

- ・森林ボランティアサポートセンター設置事業 事業費：5,001千円
- ・森林ボランティア活動推進事業 事業費：2,513千円
- ・森林ボランティア団体活動支援事業 (2,513千円)
- ・環境貢献企業の森林保全参加推進事業 事業費：128千円

○H21実績

・森林ボランティアサポートセンター設置事業

引き続き「県民の森」内に森林ボランティアサポートセンターを設置し、ホームページや広報誌「森ボラ新聞」の発行(4回)によるイベント情報の提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。(HPアクセス件数:46,046件、平均:3,837件/月)

・森林ボランティア活動推進事業

①森林ボランティア団体活動支援事業

19団体に2,513千円を補助した。

※うつくしま21森林づくりネットワークの森林づくり推進連絡会議、森林づくり活動発表交流会(白河市)を開催した。(延べ参加者72名)

・環境貢献企業の森林保全参加推進事業

(株)東邦銀行-須賀川市-県、(株)東邦銀行-喜多方市-県の3者による森林づくり協定書を締結した。(2件)

また、森林づくり活動に対する相談業務を行うとともに、国土緑化推進機構主催の「企業の森づくりフェア2010」(1月27日、東京都)へ出展し、福島県における企業の森林づくりを県外企業へPRした。

※相談を受けた主な企業等

(株)東邦銀行、(社)福島県トラック協会、福島県建設労働組合連合会、
農林中央金庫福島支店

○実績累計(H18~21)

事業費計：41,748千円

- ・森林ボランティアサポートセンター設置事業(事業費：20,643千円)
- ・森林ボランティア活動推進事業(事業費：20,281千円)
森林づくり活動発表交流会 延べ参加者483名(4回)
森林ボランティア団体活動支援 延べ78団体(79件)
- ・環境貢献企業の森林保全参加推進事業(事業費：824千円)

(8) もりの案内人等指導者養成事業

事業概要

もりの案内人を養成するため、審査委員会や養成講座を開催するとともに、森林環境やその指導方法に関する研修会及び森林整備ボランティア団体のリーダーを養成した。

事業費計：2,817千円

- ・もりの案内人第2期養成事業 事業費：1,924千円
- ・森林づくり指導者養成事業 事業費：893千円

○H21実績

・もりの案内人第2期養成事業

もりの案内人35名に認定証を交付した。

・森林づくり指導者育成事業

①森林環境学習指導者育成

6月27~28日 もりの案内人等を対象に「県民の森」で実施した。(参加者18名)

②森林ボランティアリーダー育成

森林ボランティアリーダー育成講座研修を8名（受講者11名）が修了した。

※森林ボランティアリーダー育成講座受講者のうち、森林整備の指導実績を積んだ者（5日間以上）を福島県グリーンフォレスターに認定した。（認定者7名）

○実績累計

事業費計：12,091千円

・もりの案内人第2期養成事業（事業費：7,684千円）

福島県もりの案内人 認定者118名（H18～） ※認定者403名（H9～）

・森林づくり指導者育成事業（事業費：4,407千円）

①森林環境学習指導者育成 参加者111名（H18～）

②森林ボランティアリーダー育成講座研修 修了者62名（H18～）

※福島県グリーンフォレスター 認定者20名（H18～） ※認定者91名（H15～）

(9) 森林環境教育指導者養成セミナー事業

事業概要

小中学校教員及び公民館指導員等が体験活動を通じて、地球温暖化対策としての森林保全の重要性を自ら認識した上で、学校や社会教育の場で森林環境学習を実践することにより、将来を担う子供達の意識と行動力の高揚を図った。

・事業費：517千円

○H21実績

県内3方部で、森林環境教育指導者養成講座を開催した。（参加者82名）

・中通り：ふくしま県民の森フォレストパークあだたら

7月30～31日 「昆虫を通して『森林を観る、自然との共生を考える』」（参加者35名）

・会津：磐梯青少年交流の家

7月26～27日 「樹木を体感して『森林環境学習』の企画をマスターしよう！」（参加者24名）

・浜通り：いわき市林業研修センター湯ノ岳山荘

8月10～11日 「森・川・海のつながりについて学ぼう」（参加者23名）

※講座で作成したプログラム等が、各教育現場において活用されている。（報告件数：5件）

これらをホームページに掲載し、指導者向けに広く紹介した。

○実績累計（H20～21）

事業費計：1,238千円

・森林環境教育指導者養成講座 延べ参加者167名

(10) 県立学校における地域連携森林環境学習推進事業

事業概要

県立学校において、森林を守り育てる意識の醸成を図るため、地域の人材を活かしながら、体験的な森林環境学習を実施した。

・事業費：1,578千円

○H21実績

①南会津高校（事業費：78千円）

森林管理署員を講師に招き、1年生が南会津町館岩地区の国有林内で間伐や測量等を体験し、林業への理解を深めた。

②田島高校（事業費：215千円）

環境科学コースを選択した2・3年生が、間伐材を活用した木工製品の製作や炭焼き等を体験した。また、地域住民とともに、ツリークライミングの技術講習を受講し、高所作業車を使わずに樹木の手入れを行う技術を学んだ。

③磐城農業高校（事業費：950千円）

園芸科等の生徒が地域住民を講師に迎え、チェーンソーや草刈り機の講習を受講した。

さらに、チップ化した間伐材を果樹園の敷料として活用するなど、木材の有効活用策について学んだ。

④相馬農業高校飯館校（事業費：171千円）

地域住民を講師に迎え、間伐材を活用したシイタケの植菌体験や山野草園づくり等を行い、農林業への理解を深めた。

⑤盲学校（事業費：23千円）

スキーで冬の森林を歩き、森林保全の意識を高めた。

⑥あぶくま養護学校（事業費：141千円）

高等部の3年生が地域に伝わる海老根和紙の製作方法を学び、地元の伝統行事にあんどんを出品した。

○実績累計（H18～21）

事業費計：11,600千円

・実施数 9校（延べ15校）

4 森林文化の復興

(11) ふくしまの森林文化復興事業

事業概要

ふくしまの森林文化を見直し、現代生活に活かしていくため、地域に根ざした森林文化を掘り起こし、県民に分かりやすい形で公表するためのデータベースの構築を図った。

・事業費：5,171千円

○H21実績

- ・森林文化に係る調査業務を特定非営利活動法人超学際的研究機構に委託した。
- ・検討委員会を開催（2回）し、有識者の指導のもと5館連携企画展の基本構想の構築を進めた。

また、専門部会を開催（4回）し、企画内容の検討や事前調査を行った。

- ・森林文化事例のデータベース構築を進めるとともに、森林文化フォーラムの開催（10月31日、只見町）により、森林文化を県民に広く発信した。（参加者120名）
- ・ふくしま森林文化企画展（5館連携企画展）実行委員会を設立し、開催（H22.6.26～8.22）に向けた準備を進めた。

○実績累計（H18～21）

事業費計：22,333千円

森林文化フォーラム 参加者520名（3回）

5 森林環境の調査研究

(12) 森林整備効果実証事業

事業概要

森林整備が水資源に与える影響を検証するため、県営森林整備事業のモデル地区において調査研究を行った。

・事業費：66千円

○H21実績

- ・白河市の調査地1ヶ所の間伐を実施した。
- ・前年度に引き続き、調査地2ヶ所（二本松市1ヶ所、白河市1ヶ所）での量水試験等観測を実施した。（二本松市は森林計画課、白河市は林業研究センター職員で継続的に実施。）
- ・報告書を作成のうえ、県民に分かり易い形で公表予定。

○実績累計（H18～21）

事業費計：8,108千円

(13) 木質バイオマス等利用による園芸施設の開発事業

事業概要

木質バイオマス燃料（木質ペレット）及び太陽光発電等自然エネルギーを活用した化石燃料を極力用いない省エネルギー型園芸施設を開発し、その実用性を検証した。

・事業費：1,943千円

○H21実績

- ・イチゴのハウス栽培において、太陽光発電・蓄電装置と木質バイオマスボイラーや各種省エネルギー技術を統合した「ふくしま型農業生産システム」を試作し、制御及び動作試験を行った。
- ・「クリーンエネルギー・ネットワークLLP」との連携により試作した「ふくしま型農業生産システム」の改良やエネルギー利用効率の調査分析を行った。

○実績累計（H20～21）

事業費計：4,851千円

6 森林環境基金の運営

(14) 森林環境基金運営事業

事業概要

森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するため、第3者機関「森林の未来を考える懇談会」を運営した。

また、森林環境税に対する県民の理解を深めるため、印刷物の配布や県営森林整備事業の実施箇所における水源地域の森林整備交流会等によるPRを行った。

なお、現行課税期間が平成22年度末に満了することから、県民アンケート調査やタウンミーティングの開催により、森林環境税の認知度や平成23年度以降の在り方に対する県民の意見を把握した。

事業費計：3,025千円

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業 事業費：606千円
- ・森林環境税関連施策PR事業 事業費：1,417千円
- ・森林環境基金事業に対する県民の声を聞く事業 事業費：1,002千円

○H21実績

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業（事業費：606千円）

森林の未来を考える懇談会を開催した。（5回）

第1回（6月8日）平成20年度事業実績、平成21年度事業概要の報告
次期森林環境税の在り方についての協議
（県民アンケート、タウンミーティングの実施方法等）

第2回（10月19日）事業実施箇所の調査（現地調査）、タウンミーティングの結果報告

第3回（11月30日）県民アンケート調査の結果報告、平成22年度新規事業概要の協議

第4回（12月24日）森林環境税の在り方についての市町村等意見の報告、
平成21年度森林環境交付金事業（地域提案重点枠）の審査

第5回（3月26日）平成21年度事業実績見込み、平成22年度事業概要の報告

- ・森林環境税関連施策PR事業

①チラシ、グッズ（県民憲章入り鉛筆・絆創膏付きリーフレット）、ホームページによりPRした。

②県政広報ラジオ番組4回（「イブニングブレイク」等）、月刊誌3回（「林業福島」等）によりPRした。

③林業祭や地産地消フェア等のイベントにおいて、来場者に県内各地の天然水を試飲してもらい、水資源を育む森林の大切さや事業の必要性についてPRした。

④水源地域の森林整備交流会（7方部）を開催し、上下流の県民の交流の中で森林整備の重要性をPRした。（参加者369名、平均:53名/方部）

県北:15名（11/26）、県中:32名（9/5）、県南:194名（8/5）、会津:43名（9/12）、
南会津:33名（11/1）、相双:29名（8/1）、いわき:23名（11/28）

・森林環境基金事業に対する県民の声を聞く事業

①県民アンケート調査（4月23日～8月31日）

対象：県内に所在する企業及び県内に居住する20歳以上の男女個人

手法：県、市町村及び教育関係機関における実施（窓口・イベント・会議・回覧等）

結果：有効回収数=10,991件、無効数=52件

※個人調査有効回収数=10,857件、無効数=46件

企業調査有効回収数=134件、無効数=6件

②タウンミーティング（参加者415名、平均:59名/方部）

県北:89名（7/30）、県中:66名（8/4）、県南:34名（8/3）、会津:72名（8/10）

南会津:40名（8/12）、相双:46名（7/27）、いわき:68名（7/24）

○実績累計（H18～21）

事業費計：19,331千円

・森林の未来を考える懇談会運営事業（事業費：3,439千円）

・森林環境税関連施策PR事業（事業費：13,990千円）

森林環境フォーラム 参加者200名（1回）

メディアツアー 延べ5社（2回）

水源地域の森林整備交流会 延べ参加者1,014名（21回）

森林の未来を考える懇談会 19回

・森林環境基金事業に対する県民の声を聞く事業（事業費：1,002千円）

県民アンケート調査 有効回答数10,991件

タウンミーティング 参加者415名（7方部）

・森林整備シンポジウム開催事業（事業費：900千円）

7 市町村が行う森林づくりの推進

(15) 森林環境交付金事業

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付した。

事業費計：

【森林環境基本枠】（事業費：77,462千円）

全ての市町村が一定の取り組みを継続的に実施

①県民参画の推進、②森林の適正管理推進、③森林環境学習の推進

【地域提案重点枠】（事業費：148,969千円）

市町村の創意工夫による優れた提案事業

①森林整備の推進、②県産間伐材の利活用推進、③木質バイオマスの利活用推進、

④その他

○H21実績（事業費：226,431千円）

・森林環境基本枠（事業費：77,462千円）

59市町村、77,462千円（いわき市6,781千円～湯川村537千円、平均:1,315千円/市町村）

森林環境学習実施校：小学校295校、中学校94校、計389校。（全774校の50%）

・地域提案重点枠（事業費：148,969千円）

要望：45市町村、93件、214,912千円

採択：45市町村、89件、167,987千円

実績：44市町村、87件、148,969千円

- ①森林整備の推進 (29市町村、47件、104,556千円)
- ②県産間伐材の利活用推進 (24市町村、29件、26,116千円)
- ③木質バイオマスの利活用推進 (8市町村、8件、11,521千円)
- ④その他 (2市町、3件、6,776千円)

○実績累計 (H18~21)

事業費計：881,611千円

- ・森林環境基本枠 (事業費：314,002千円)

森林環境学習実施校：小学校385校、中学校125校、計510校。(全774校の66%)

- ・地域提案重点枠 (事業費：567,609千円)

56市町村、312件

- ①森林整備の推進 (42市町村、159件、791.10ha)

- ②県産間伐材の利活用推進 (39市町村、105件)

- ③木質バイオマスの利活用推進 (24市町村、37件、ペレットストーブ設置台数：142台)

- ④その他 (6市町村、11件)